

石川県木造住宅簡易耐震診断の書式変更等のお知らせ

平成 27 年度より「木造住宅簡易耐震診断報告書」に添付する“簡易耐震診断表”の一部内容の変更と追加がありますのでお知らせします。

主な変更と追加については下記に説明します。尚、新書式は当協会：(一社)石川県建築士事務所協会のホームページからダウンロードできます。尚、平成 27 年 4 月 1 日以降の診断業務ではこの新書式にて報告書を作成してください。

【変更・追加の理由と内容】

- これまで耐震診断を実施しても補強・改修につながるケースが少なく、その要因として耐震改修にかかる費用がわからず、改修に踏み切れないことがあげられています。
- そこで、これまでのデータを基に「耐震改修工事にかかる概算費用」を追加で参考提示することにしました。また、日本建築防災協会発行のパンフレット「木造住宅の耐震改修の費用」も報告書巻末に添付（注：添付は当協会にて行います）します。
- 診断依頼者が最も知りたい情報としては、診断結果の「評点」と共に、所有する住宅の耐震性能のわかり易い説明（所見）と今後の対処方法（アドバイス）と考えられます。
- そこで、診断表の【**所見・アドバイス**】は記入必須事項とし、できるだけわかり易く丁寧な説明に努めてください。

【新書式記入の注意事項等】

簡易耐震診断表

- ・ 使用する診断プログラムにより《Wee2012 用》・《市販ソフト用》の 2 種類あります。
- ・ 「床面積」の欄を追加しました。出力結果から転記し、費用算定時に用います。
- ・ 【**所見・アドバイス**】は必ず記入してください。わかり易くお願いします。
- ・ **(赤字)** や**※赤字**は解説文ですので、記入後は削除してください。

耐震改修工事にかかる概算費用（参考）

- ・ ○○○邸に住宅所有者名を記入し、費用の計算結果を適当にまとめて記入します。
- ・ 【**計算式**】では診断表から「総合評点」と「延べ床面積」を転記し、工事費を計算します。
- ・ その他の部分は、特に問題がなければそのまま利用してください。
- ・ **(赤字)** は解説文ですので、記入後は削除してください。
- ・ 尚、この書式は上記診断表の後に添付してください。

※ その他の書式は、今までと変わりませんのでそのまま利用してください。

※ 尚、日本建築防災協会発行のパンフレット「木造住宅の耐震改修の費用」も参考としてダウンロードできます。